

調査結果の概要

1 学校調査

(1) 小学校

ア 学校数

学校数は463校(本校449校、分校14校)で、前年に比べ2校増加した。これは、大山田南小学校(桑名市)と郡山小学校(鈴鹿市)が新設されたことによる。(表1)

表1 小学校の設置者別学校数

	総 数			国 立			公 立			私 立
	計	本 校	分 校	本 校	計	本 校	分 校	本 校		
昭和50年	470	436	34	1	468	434	34	1		
55	459	439	20	1	457	437	20	1		
60	464	447	17	1	462	445	17	1		
62	463	447	16	1	461	445	16	1		
63	464	448	16	1	462	446	16	1		
平成元	462	448	14	1	460	446	14	1		
2	461	447	14	1	459	445	14	1		
3	463	449	14	1	461	447	14	1		
対前年比較	2	2	0	0	2	2	0	0		

イ 学級数、児童数

学級数は4,969学級で、前年に比べ19学級減少した。その内訳をみると、75条の学級が1学級増加したのに対して、単式学級が16学級、複式学級が4学級減少した。なお、単式学級が全学級数に占める割合は92.2%で、前年と同じである。

児童数は134,829人(男68,788人、女66,041人)で、前年に比べ1,890人減少した。1学級当たりの児童数を学級編制方式別にみると、単式学級29.1人、複式学級10.6人、75条の学級2.1人となり、前年と比べるといずれの学級でも減少している。

表2 小学校の学級編制方式別学級数、児童数

単位(児童数:人)

	総 数			単 式 学 級			複 式 学 級			7 5 条 の 学 級		
	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数	学級数	児 童 数	1学級当たりの児童数
昭和50年	4,823	147,873	30.7	4,560	145,984	32.0	88	923	10.5	175	966	5.5
55	5,327	167,768	31.5	5,055	166,088	32.9	66	685	10.4	206	995	4.8
60	5,253	160,038	30.5	4,916	158,228	32.2	82	892	10.9	255	918	3.6
62	5,029	147,208	29.3	4,685	145,496	31.1	91	1,013	11.1	253	699	2.8
63	4,968	141,956	28.6	4,607	140,210	30.4	94	1,056	11.2	267	690	2.6
平成元	4,968	138,780	27.9	4,589	137,036	29.9	99	1,085	11.0	280	659	2.4
2	4,988	136,719	27.4	4,598	134,997	29.4	100	1,076	10.8	290	646	2.2
3	4,969	134,829	27.1	4,582	133,198	29.1	96	1,022	10.6	291	609	2.1
対前年比較	-19	-1,890	-0.3	-16	-1,799	-0.3	-4	-54	-0.2	1	-37	-0.1

ウ 教員数

本務教員数は7,404人(男3,020人、女4,384人)で、前年に比べ25人(0.3%)増加した。

本務教員数の男女の比率は、男子40.8%、女子59.2%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの児童数は、18.2人となり前年に引き続き減少している。

(表3)

表3 小学校の本務教員数

単位(教員数・児童数:人、割合:%)

	総数	男	女	女子教員の	教員1人当
				占める割合	
昭和50年	6,421	2,918	3,503	54.6	23.0
55	7,314	3,252	4,062	55.5	22.9
60	7,464	3,353	4,111	55.1	21.4
62	7,301	3,227	4,074	55.8	20.2
63	7,234	3,178	4,056	56.1	19.6
平成元	7,305	3,133	4,172	57.1	19.0
2	7,379	3,088	4,291	58.2	18.5
3	7,404	3,020	4,384	59.2	18.2
対前年比較	25	-68	93	1.0	-0.3

(2) 中学校

ア 学校数

学校数は190校(本校187校、分校3校)で、前年と変わらなかった。なお、上野市において成和中学校が新設されたが、大成中学校が廃止されている。(表4)

表4 中学校の設置者別学校数

	総数			国立		公立			私立
	計	本校	分校	本校	計	本校	分校	本校	
昭和50年	196	187	9	1	188	179	9	7	
55	184	180	4	1	175	171	4	8	
60	190	186	4	1	180	176	4	9	
62	191	187	4	1	180	176	4	10	
63	191	187	4	1	180	176	4	10	
平成元	191	188	3	1	180	177	3	10	
2	190	187	3	1	179	176	3	10	
3	190	187	3	1	179	176	3	10	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	0	0	

イ 学級数、生徒数

学級数は2,296学級で、前年に比べ39学級減少した。学級編制方式別にみると、75条の学級が6学級増加したのに対し、単式学級は45学級減少している。また、75条の学級の全学級数に占める割合は5.1%で、前年に比べ0.4%増加している。

生徒数は76,333人(男39,234人、女37,099人)で、前年に比べ2,384人(3.0%)減少した。また、1学級当たりの生徒数は単式学級34.9人、75条の学級2.9人であった。(表5)

表5 中学校の学級編制方式別学級数、生徒数

単位(生徒数:人)

	総数			単式学級			75条の学級		
	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数
昭和50年	1,942	70,636	36.4	1,853	70,124	37.8	89	512	5.8
55	1,977	72,259	36.5	1,886	71,827	38.1	91	432	4.7
60	2,333	86,685	37.2	2,216	86,183	38.9	117	502	4.3
62	2,433	88,575	36.4	2,313	88,151	38.1	120	424	3.5
63	2,391	85,987	36.0	2,274	85,630	37.7	117	357	3.1
平成元	2,366	82,103	34.7	2,251	81,769	36.3	115	334	2.9
2	2,335	78,717	33.7	2,225	78,397	35.2	110	320	2.9
3	2,296	76,333	33.2	2,180	75,991	34.9	116	342	2.9
対前年比較	-39	-2,384	-0.5	-45	-2,406	-0.3	6	22	0.0

ウ 教員数

本務教員数は4,527人(男2,685人、女1,842人)で、前年に比べ3人増加した。

本務教員数の男女の比率は、男子59.3%、女子40.7%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数は16.9人で、前年に引き続き減少している。(表6)

表 6 中 学 校 の 本 務 教 員 数

単位(教員数・生徒数:人、割合:%)

	総 数	男	女	女 子 教 員 の 占 め る 割 合	教 員 1 人 当 り の 生 徒 数
昭和50年	3,584	2,403	1,181	33.0	19.7
55	3,770	2,366	1,404	37.2	19.2
60	4,388	2,757	1,631	37.2	19.8
62	4,584	2,880	1,704	37.2	19.3
63	4,530	2,816	1,714	37.8	19.0
平成元	4,503	2,767	1,736	38.6	18.2
2	4,524	2,720	1,804	39.9	17.4
3	4,527	2,685	1,842	40.7	16.9
対前年比較	3	-35	38	0.8	-0.5

(3) 高等学校

ア 学校数

学校数は81校で前年と変わらなかった。

課程別にみると、全日制64校(公立51校、私立13校)、定時制4校(公立3校、私立1校)、併置校13校(公立11校、私立2校)となっている。(表7)

表 7 高 等 学 校 の 設 置 者 別 学 校 数

	総 数	公 立						私 立				
		計	本 校			分 校			計	本 校		
			全 日 制	定 時 制	併 置	全 日 制	定 時 制	全 日 制		定 時 制	併 置	
昭和50年	71	57	40	4	11	2	—	14	9	1	4	
55	75	60	44	4	10	2	—	15	12	1	2	
60	78	63	47	4	10	2	—	15	12	1	2	
62	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
63	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
平成元	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
2	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
3	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	

イ 生徒数

生徒数は77,422人(男38,990人、女38,432人)で、前年に比べ1,515人(1.9%)減少した。設置者別では、公立が62,203人で80.3%(2年81.0%)を占め、私立は15,219人で19.7%(2年19.0%)となっており、私立の占める割合が前年よりも高くなっている。

課程別では、全日制が75,981人で98.1%(2年97.9%)を占め、定時制は1,441人で1.9%(2年2.1%)となっている。(表8)

表 8 高等学校の生徒数

単位：人

	総 数			本 科								専攻科	別 科
	計	全日制	定時制	計	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他		
昭和50年	63,507	59,911	3,596	63,432	39,027	2,192	7,093	8,178	377	5,548	1,017	65	10
55	68,746	66,450	2,296	68,656	45,294	2,285	6,749	7,773	403	5,132	1,020	78	12
60	73,206	71,368	1,838	73,113	50,497	2,283	6,999	7,940	411	3,958	1,025	80	13
62	75,037	73,242	1,795	74,925	52,197	2,242	7,135	7,843	396	3,770	1,342	107	5
63	76,822	75,045	1,777	76,702	53,411	2,282	7,149	8,065	393	3,760	1,642	115	5
平成 元	79,172	77,442	1,730	79,052	55,225	2,399	7,013	8,025	412	3,783	2,195	110	10
2	78,937	77,291	1,646	78,832	55,213	2,414	7,158	7,651	415	3,715	2,266	105	-
3	77,422	75,981	1,441	77,317	54,414	2,328	7,082	7,359	387	3,485	2,262	105	-
公立	62,203	60,888	1,315	62,114	40,034	2,250	7,082	7,220	387	3,407	1,734	89	-
私立	15,219	15,093	126	15,203	14,380	78	-	139	-	78	528	16	-
対前年比較	-1,515	-1,310	-205	-1,515	-799	-86	-76	-292	-28	-230	-4	0	-

表 9 高等学校の本務教員数

単位(教員数・教員1人当たりの生徒数：人、割合：%)

ウ 教員数

本務教員数は4,383人(男3,457人、女926人)で、前年に比べ28人(0.6%)減少した。

設置者別では、公立が3,634人(男2,885人、女749人)で82.9%(2年82.6%)を占め、私立が749人(男572人、女177人)で17.1%(2年17.4%)となっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数をみると、総数では17.7人(2年17.9人)、公立は17.1人(2年17.6人)、私立は20.3人(2年19.5人)となっている。(表9)

	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当た りの生徒数
昭和50年	3,462	2,812	650	18.8	18.3
55	3,684	2,943	741	20.1	18.7
60	4,004	3,207	797	19.9	18.3
62	4,096	3,303	793	19.4	18.3
63	4,208	3,381	827	19.7	18.3
平成 元	4,315	3,421	894	20.7	18.3
2	4,411	3,476	935	21.2	17.9
3	4,383	3,457	926	21.2	17.7
公立	3,634	2,885	749	20.6	17.1
私立	749	572	177	23.6	20.3
対前年比較	-28	-19	-9	-0.1	-0.2

(4) 盲学校、聾学校、養護学校

学校数は、盲学校1校(公立)、聾学校1校(公立)、養護学校15校(国立1校、公立13校、私立1校)で、盲学校と聾学校は変わらないが、養護学校は4分校が新設されたことにより4校増加した。

在学者数は、盲学校51人、聾学校92人、養護学校934人で、前年に比べ聾学校は12人増加したが、盲学校は18人、養護学校は17人減少した。

また、本務教員数は、盲学校40人(公立)、聾学校58人(公立)、養護学校521人(国立26人、公立485人、私立10人)で、前年に比べ聾学校は7人、養護学校は79人増加した。なお、盲学校については前年と変わらなかった。(表10)

表 10 盲学校、聾学校、養護学校の学校数、在学者数、本務教員数

単位(在学者数・教員数：人)

	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数
昭和50	1	100	35	1	176	54	4	455	117
55	1	106	40	1	160	52	9	854	302
60	1	81	39	1	112	49	9	949	339
62	1	76	37	1	105	57	9	966	345
63	1	76	38	1	98	55	10	967	371
平成 元	1	76	38	1	91	51	11	966	405
2	1	69	40	1	80	51	11	951	442
3	1	51	40	1	92	58	15	934	521
対前年比較	0	-18	0	0	12	7	4	-17	79

(5) 幼稚園

ア 幼稚園数

幼稚園数は273園で、前年に比べ1園減少した。これは、大山田南幼稚園（桑名市）が新設されたが、橋西幼稚園と松阪幼稚園（いずれも松阪市）が廃止されたことによる。

設置者別にみると、国立1園（0.4%）、公立210園（76.9%）、私立62園（22.7%）となっている。私立をさらに設置者別にみると、学校法人55園（88.7%）、宗教法人7園（11.3%）である。（表11）

イ 園児数

園児数は25,685人で、前年に比べ489人（1.9%）減少した。設置者別では、公立が12,382人で48.2%を占め、私立は13,158人で51.2%、国立は145人で0.6%となっている。（表11）

ウ 教員数

本務教員数は1,470人（男36人、女1,434人）で、前年に比べ1人増加した。本務教員1人当たりの園児数は17.5人で、前年に比べ0.3人減少している。また、本務教員のうち、女子の占める割合は97.6%であった。（表11）

表11 幼稚園の園数、学級数、園児数、本務教員数

単位（園児数・教員数：人）

	園 数			学 級 数	園 児 数			本 務 教 員 数
	総 数	国・公立	私 立		総 数	男	女	
昭和50年	243	193	50	864	26,846	13,745	13,101	1,120
55	261	208	53	982	29,005	14,730	14,275	1,371
60	270	211	59	945	25,524	12,958	12,566	1,373
62	272	211	61	965	25,053	12,671	12,382	1,333
63	272	211	61	997	25,775	13,092	12,683	1,421
平成元	272	211	61	1,017	26,188	13,274	12,914	1,447
2	274	212	62	1,005	26,174	13,263	12,911	1,469
3	273	211	62	1,027	25,685	13,060	12,625	1,470
対前年比較	-1	-1	0	22	-489	-203	-286	1

エ 就園率

平成3年3月の幼稚園修了者（義務教育就学年齢に達したため卒園した者）は13,189人で、前年に比べ431人減少した。

就園率（小学校1年生のうち幼稚園を修了した者の割合）は60.5%で、前年より低くなっている。（表12）

$$\text{就園率} = \frac{\text{前年度修了者}}{\text{小学校1年生}} \times 100$$

表12 就園率
単位（小学校1年生・前年度修了者：人、就園率：%）

	小学校1年生	前年度修了者	就園率
昭和50年	26,492	11,096	41.9
55	29,001	18,879	65.1
60	24,147	15,054	62.3
62	22,204	13,693	61.7
63	21,233	13,118	61.8
平成元	21,979	13,516	61.5
2	22,427	13,620	60.7
3	21,806	13,189	60.5
対前年比較	-621	-431	-0.2

(6) 専修学校

学校数は42校で、前年と比べ1校増加した。これは、1校（国立）が廃止されたが、2校（学校法人他）が新設されたことによる。生徒数は5,624人（男2,389人、女3,235人）で、前年に比べ514人減少した。

学科別にみると、高等課程が2,987人で53.1%と最も多く、ついで専門課程の2,523人で44.9%、一般課程の114人で2.0%などとなっている。

教員数は、本務者が408人で前年に比べて42人増加したが、兼務者は952人で39人減少した。（表13、表14）

表 1 3 専修学校の学校数、生徒数、教員数

単位(生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和51年	22	1	1	20	3,490	486	3,004	206	280
55	25	4	1	20	3,450	368	3,082	242	554
60	34	4	2	28	3,642	593	3,049	276	907
62	37	4	2	31	4,180	1,060	3,120	296	949
63	41	4	2	35	4,844	1,555	3,289	339	1,014
平成元	41	4	2	35	5,451	1,944	3,507	357	990
2	41	4	2	35	6,138	2,455	3,683	366	991
3	42	3	2	37	5,624	2,389	3,235	408	952
対前年比較	1	-1	0	2	-514	-66	-448	42	-39

(注) 1. 専修学校制度は、昭和51年から。

2. 昭和51年の学校数(国立)には、文部省以外の省庁が設置した学校を含んでいない。

表 1 4 専修学校の学科別生徒数

単位:人

	総 数			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	総 数	男	女
総 数	5,624	2,389	3,235	270	7	263	202	11	191	5,152	2,371	2,781
高 等 課 程	2,987	1,908	1,079	-	-	-	-	-	-	2,987	1,908	1,079
専 門 課 程	2,523	459	2,064	270	7	263	202	11	191	2,051	441	1,610
一 般 課 程	114	22	92	-	-	-	-	-	-	114	22	92

(7) 各種学校

学校数は157校で、前年に比べ3校減少した。これは、私立学校において3校廃止されたことによる。

生徒数は10,076人(男3,639人、女6,437人)で、前年に比べ397人減少した。生徒数の男女の比率は男子36.1%、女子63.9%で、前年に比べ男子の比率がわずかに上昇している。

教員数は、前年に比べ本務者が494人で4人、兼務者が386人で55人減少した。(表15)

表 1 5 各種学校の学校数、生徒数、教員数 単位(生徒数・教員数:人)

	学 校 数					生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和50年	222	1	9	212	21,806	5,014	16,792	872	1,248	
55	186	-	6	180	15,340	5,110	10,230	609	804	
60	169	-	4	165	12,155	4,205	7,950	532	449	
62	167	-	4	163	11,576	4,166	7,410	505	433	
63	165	-	4	161	11,257	4,035	7,222	502	420	
平成元	164	-	4	160	10,702	3,762	6,940	494	410	
2	160	-	3	157	10,473	3,744	6,729	498	441	
3	157	-	3	154	10,076	3,639	6,437	494	386	
対前年比較	-3	-	0	-3	-397	-105	-292	-4	-55	

2 卒業後の状況調査

(1) 中 学 校

ア 卒 業 者

平成3年3月の卒業者は27,317人(男13,914人、女13,403人)で、前年に比べ1,709人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者(就職して進学した者を含む。)は26,025人で全体の95.3%、専修学校等入学者(就職して入学した者を含む。)は531人で1.9%、就職者は654人で2.4%、その他の者(無業者、死亡、不詳)は107人で0.4%となっている。(表16)

イ 進 学 者

進学者は26,025人で、前年に比べ1,327人減少した。進学率をみると95.3%となり、前年より1.1ポイント上昇した。また、高等学校本科通信制課程への進学者(283人)を除く進学率は94.2%であった。(表16)

表 1 6 中 学 校 の 進 路 別 卒 業 者 数

単位(卒業者:人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入学者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率		就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)	(A)	(A)から通 信制課程を除 く	
昭和50年	23,203	21,325	...	1,108	770	340	...	91.9	...	6.2
55	25,616	23,870	692	945	109	190	36	93.2	...	4.6
60	27,231	25,269	714	1,095	153	240	27	92.8	92.5	5.0
62	29,430	27,244 (153)	950	1,056	180	268	14	92.6	92.1	4.5
63	29,695	27,474 (300)	1,021	981	219	224	12	92.5	91.5	4.1
平成元	29,994	28,077 (617)	872	872	173	201	11	93.6	92.3	3.6
2	29,026	27,352 (283)	742	777	155	207	6	94.2	92.1	3.4
3	27,317	26,025	531	654	107	124	11	95.3	94.2	2.9
構 成 比	100.0	95.3	1.9	2.4	0.4	-	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 = $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$

2. () 内の数字は、高等学校本科通信制課程への進学者で内数である。

ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は789人（男509人、女280人）で、前年に比べ201人減少した。就職率は2.9%で、前年に比べ0.5ポイント低下した。（表16）

就職先を産業別にみると、第2次産業が400人で全体の50.7%を占めて最も多く、ついで第3次産業が285人で36.1%、第1次産業が89人で11.3%、その他が15人で1.9%となっている。（表17）

また、就職先を県内と県外に分けてみると、県内への就職者は696人で88.2%を占めており、前年に比べると1.1ポイント上昇した。（表18）

表17 中学校の産業別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他
昭和50年	1,448	82	797	537	32
55	1,171	43	675	412	41
60	1,362	28	735	550	49
62	1,338	35	623	619	61
63	1,217	47	561	556	53
平成元	1,084	36	566	434	48
2	990	52	495	411	32
3	789	89	400	285	15
構成比	100.0	11.3	50.7	36.1	1.9

表18 中学校の県内県外別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総数	県内	県外
昭和50年	1,448	1,161	287
55	1,171	949	222
60	1,362	1,190	172
62	1,338	1,178	160
63	1,217	1,078	139
平成元	1,084	948	136
2	990	862	128
3	789	696	93
構成比	100.0	88.2	11.8

(2) 高等学校

ア 卒業生

平成3年3月の卒業生は25,331人（男12,680人、女12,651人）で、前年に比べ182人増加した。卒業後の進路別にみると、就職者は10,449人で41.2%（2年41.8%）、進学者（就職して進学した者を含む。）は8,874人で35.0%（2年32.6%）、専修学校等入学者は4,610人で18.2%（2年19.4%）、その他（無業者、死亡、不詳）は1,398人で5.6%（2年6.2%）となっている。（表19）

イ 進学者

進学者は8,874人で前年に比べ672人増加した。進学率をみると35.0%となり、前年より2.4ポイント上昇した。進学先別にみると、大学学部が5,521人（男3,356人、女2,165人）、短期大学本科が3,289人（男145人、女3,144人）等となっている。（表19）

表19 高等学校の進路別卒業生数

単位（卒業生：人、進学率・就職率・構成比：%）

	総数	進学者 (A)	専修学校等 入学者 (B)	就職者 (C)	その他 (D)	再掲		進学率	就職率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)		
昭和50年	19,472	6,613	...	9,739	3,120	141	...	34.0	50.7
55	20,467	6,355	2,568	9,991	1,553	68	121	31.0	49.7
60	18,603	5,633(-)	2,904	9,053	1,013	43	147	30.3	49.7
62	23,364	7,401(2)	3,760	10,533	1,670	49	190	31.7	46.1
63	23,359	7,629(-)	4,087	10,153	1,490	44	174	32.7	44.4
平成元	23,528	7,713(5)	4,467	9,961	1,387	28	206	32.8	43.3
2	25,149	8,202(3)	4,883	10,514	1,550	30	189	32.6	42.7
3	25,331	8,874(10)	4,610	10,449	1,398	25	176	35.0	42.0
構成比	100.0	35.0	18.2	41.2	5.6	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 = $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総数}} \times 100$

2. () 内の数字は、大学・短期大学の通信教育部への進学者で内数である。

ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は10,650人（男 5,404人、女 5,246人）で、前年に比べ83人減少した。就職率は42.0%で、前年より0.7ポイント低下した。（表19）

就職先を産業別にみると、第2次産業が5,423人で50.9%、第3次産業が5,041人で47.3%などであった。（表20）

また、これを職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業者及び労務作業者が4,293人で40.3%を占め、ついで事務従事者が2,864人で26.9%、販売従事者が1,175人で11.0%などとなっている。

就職先を都道府県別にみると、県内が8,100人で76.1%となっているが、県外では愛知県1,613人（15.1%）、大阪府409人（3.8%）、東京都172人（1.6%）など2,550人で23.9%であった。県外への就職者の割合は、前年より1.8ポイント上昇している。（表21）

表 2 0 高 等 学 校 の 産 業 別 就 職 者 数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	第 1 次 産 業	第 2 次 産 業	第 3 次 産 業	そ の 他
昭和50年	9,880	189	4,022	5,659	10
55	10,180	142	3,972	5,931	135
60	9,243	104	4,775	4,264	100
62	10,772	86	4,870	5,706	110
63	10,371	66	4,555	5,624	126
平成元	10,195	48	5,195	4,846	106
2	10,733	31	5,668	4,945	89
3	10,650	27	5,423	5,041	159
構成比	100.0	0.3	50.9	47.3	1.5

（注）就職者には、進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含んでいる。

表 2 1 高 等 学 校 の 県 内 県 外 別 就 職 者 数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	県 内	県 外				
			計	愛 知 県	大 阪 府	東 京 都	そ の 他
昭和50年	9,880	6,845	3,035	1,813	645	141	436
55	10,180	7,278	2,902	1,837	563	97	405
60	9,243	6,753	2,490	1,434	449	96	511
62	10,772	8,176	2,596	1,713	447	90	346
63	10,371	7,975	2,396	1,546	429	85	336
平成元	10,195	8,012	2,183	1,408	373	99	303
2	10,733	8,357	2,376	1,506	407	108	355
3	10,650	8,100	2,550	1,613	409	172	356
構成比	100.0	76.1	23.9	15.1	3.8	1.6	3.4

（注）就職者には、進学して就職している者、専修学校等に入学して就職している者を含んでいる。